

日・中非開削技術協会交流調査団 報告

武漢交流調査団に参加して

仲村 修

NAKAMURA Shu

(株)公共投資ジャーナル社
代表取締役



期 間：平成23年4月15日（金）～18日（月）

訪 問 先：中国非開削技術協会（CSTT）年会
（武漢市）（16日）

中国地質大学（武漢市）（17日）

参 加 者：日本から参加7名

（松井大悟氏、石川和秀氏、荒井行雄氏、
元網豊氏、安田一成氏、仲村修氏、野尻
吉彦氏）

現地から参加3名

（豊田雄大氏、張立氏、千星征雄氏）

交流内容：（中国非開削技術協会（CSTT）年会ほか）

- （1）JSTTとCSTTとの技術交流「覚書」調印
- （2）日本の非開削技術紹介及び意見交換
（日・中非開削技術協会交流会（武漢）にて）
- （3）中国地質大学（CUG）の“非開削技術の取
り組み”を聞く
- （4）CUGと非開削技術に関する 意見交換

日本非開削技術協会（JSTT）は、中国非開削技術協会（CSTT）との相互交流を深めるため、4月15日から18日の4日間、湖南省武漢市に交流調査団を派遣した。

これは16日、17日の両日、武漢市にある武漢国際展示センター（International Convention&Exhibition Hall）で開催されたCSTT年会と非開削技術展示会に参加し、中国の非開削技術の現状を視察するとともに、JSTTとCSTT間の相互交流促進のための「覚書」に調印及び日本の非開削技術の紹介や非開削技術に関する意見交換を目的としたものであった。

17日には温家宝首相の出身大学でもある中国地質大学（武漢校）を訪問、中国非開削技術の現状について話を聞くことができた。同大学には非開削技術の専門学科が設けられ、その中心になっている馬教授は国際的にも活躍する中国非開削技術のリーダー的な存在であり、海外との技術交流の窓口の役割も担っていた。

表－1 訪中調査団の日程

日次	月日（曜日）	地 名	主なスケジュール
1	4月15日（金）	東京（成田発）	空路：上海経由、武漢へ
2	4月16日（土）	武漢滞在	①CSTT年会、非開削技術展示会 ②日中非開削技術協会「覚書」調印 ③日本の非開削技術の紹介及び意見交換 ④CSTT主催の懇親会（晩餐会）
3	4月17日（日）	武漢滞在	①中国地質大学（CUG）訪問 蒋学部長、馬教授、大学院生と意見交換 ②CUG主催の夕食会
4	4月18日（月）	東京（成田着）	空路：上海経由、東京（成田）へ